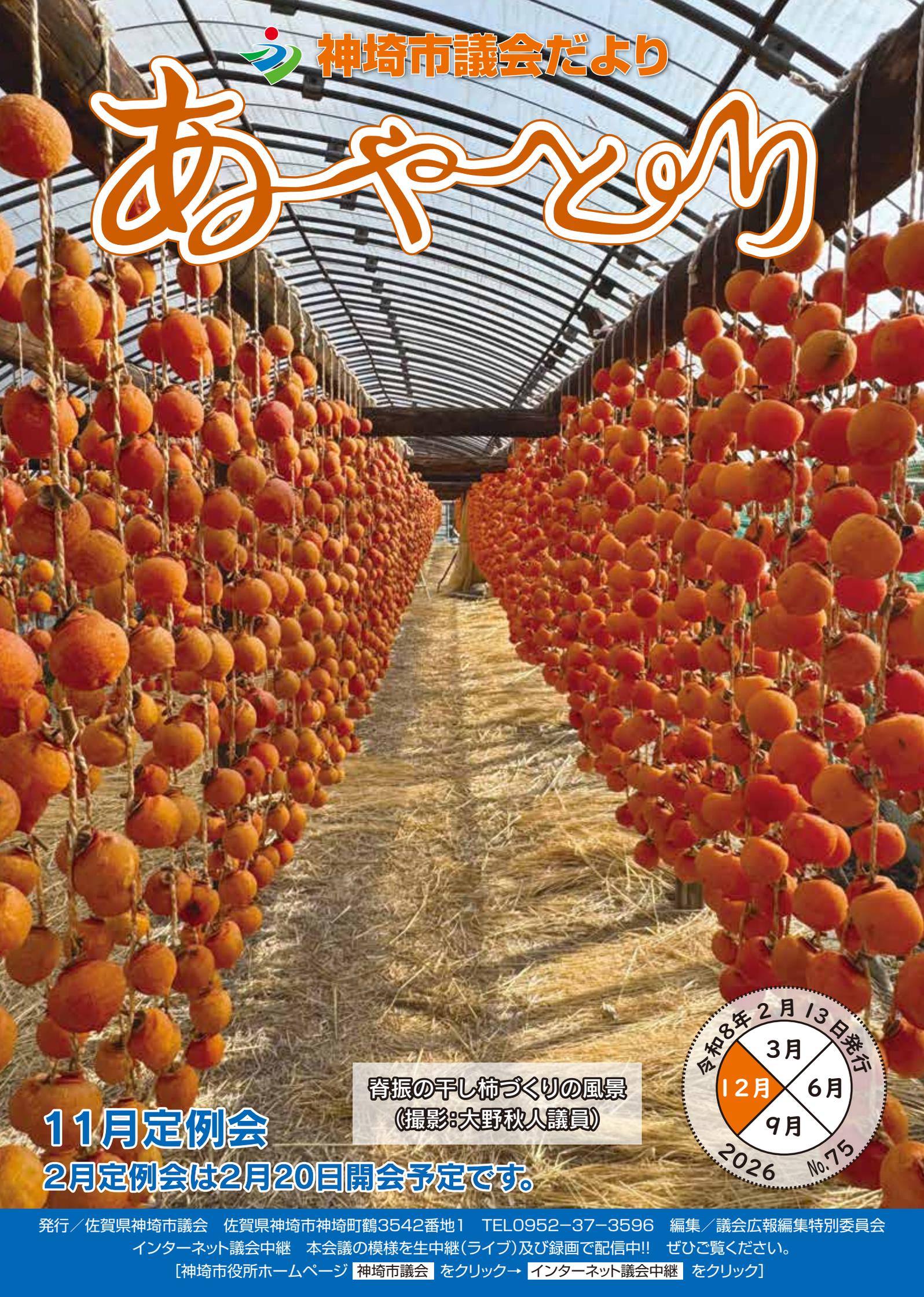




神崎市議会だより

あやとり



脊振の干し柿づくりの風景
(撮影:大野秋人議員)

11月定例会

2月定例会は2月20日開会予定です。



発行／佐賀県神崎市議会 佐賀県神崎市神崎町鶴3542番地1 TEL0952-37-3596 編集／議会広報編集特別委員会

インターネット議会中継 本会議の様を生中継(ライブ)及び録画で配信中!! ぜひご覧ください。

[[神崎市役所ホームページ](#) [神崎市議会](#) をクリック→ [インターネット議会中継](#) をクリック]

議会が可決・承認したのはどんな予算？



おもな補正予算を紹介します

11月定例会の補正予算総額 12億3,414万円

11月定例会は、令和7年11月28日から12月19日までの22日間開かれ、一般質問に14人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第6号（専決処分）で863万8千円、補正第7号で8億559万7千円、補正第8号で4億1,990万5千円を追加し、総額241億3,122万円となりました。

主な取組み（事業）を掲載します。

※繰越明許費とは…

年度内に支出が終わらないことが見込まれる事業について、あらかじめ議会の議決を得て、翌年度に予算を繰り越して支出できるようにすることです。

家計をサポート！子育て応援手当

○【繰越明許費】物価高対応子育て応援手当支給事業 9,978万4千円（翌年度繰越額68万5千円）
（物価高対応子育て応援手当支給事業費・事務費補助金 9,978万4千円）

令和7年11月21日に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策」として、令和7年9月30日時点で0歳から18歳までの子どもを養育する保護者に対し、子ども1人当たり2万円の応援手当を支給する。

※対象児童には令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児を含む。



毎日の買い物を応援！

○【繰越明許費】市民生活応援券給付事業 3億2,012万1千円（翌年度繰越額3億325万1千円）
（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3億2,012万1千円）

閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策」における物価高騰対策として、市民全員に一律1万円の応援券を給付し、市民の家計を支援する。

- ・発送：令和8年3月中旬予定
- ・利用期間：令和8年3月～5月予定



猫と人が共に生きるために

○飼い主のいない猫の避妊去勢手術費補助金 97万8千円
（一般財源 97万8千円）

飼い主のいない猫の増加を防止するため、市の承認を受けた団体が行う猫の避妊又は去勢手術に必要な費用の一部を補助金として交付しているが、令和7年度11月現在における、補助金決定（2地区、37匹を処置）及び補助金申請状況（7地区、58匹）を踏まえ、予算現額に不足が生じたため。

予算特別委員会のQ&A 補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

【債務負担行為】

地域間幹線系統運行事業(江見線)

〔債務負担行為設定期間：令和7年度から令和13年度まで〕
〔債務負担行為限度額：地域間幹線系統運行に必要な運行経費、設備整備等に資する経費に相当する額〕

(事業の目的)

西鉄バス佐賀(株)の路線バス「江見線」は、運転手不足等により令和8年9月末で廃止予定となっている。沿線住民の重要な移動手段を守るため、神崎市・佐賀市・みやき町の3市町が事業主体となって運行を継続し、地域の移動手段を確保する。なお、神崎市は代表自治体として、事業の発注・管理や関係市町間の調整を担う。



▲9月末で廃止予定の西鉄バス江見線

※債務負担行為とは…

将来の財政負担を約束する内容を予算として定めておくものです。

Q 江見線を3市町で引き継ぐにあたり、バス購入費や運営費などの費用負担はどのようになるのか。3分の1ずつではないのか。

A 費用負担は、基本的に路線の延長(距離)に応じた按分で決めている。バス購入費も、走行に応じて減価償却していく性質を踏まえ、3市町の協議で「距離按分」としている。

Q 自治体が引き継ぐと、乗車運賃が上がるのではないかと、今より高くないよう、住民が利用しやすい運賃にしてほしい。運賃は誰がどう決めるのか。

A 運賃は国の制度に基づき設置する運賃協議会で協議して決定する。市としては、利用者の負担増にならないよう配慮しながら、住民の利用実態も踏まえて協議を進めていく。

【債務負担行為】

神崎市小中学校英語教育推進事業 (オンライン英語レッスン)

〔債務負担行為設定期間：令和8年度〕
〔債務負担行為限度額：578万8千円〕

(事業の目的)

グローバル化していく社会の中で、英語の能力がより求められており、小中を通じた英語教育を実施することで、国際社会で活躍できる人材の育成を図る。

Q 各学校のレッスン計画はどのように立てるのか。

A 時間設定については、各学校が自由に組むことはできない。事前に委託事業者と話し合い、年間計画を立て実施している。

職員採用管理システム使用料（一般管理費） 11万円（一般財源 11万円）

（事業の目的）

令和7年度（令和8年度入庁）神崎市職員採用試験について2回目を実施するため、当初（令和7年8月～12月）としていた職員採用システムの利用期間を令和8年2月まで延長する。

Q

通年採用に対応するためシステム改修を行うが、当初から想定していたのか。また、新たに中途・経験者採用（年齢層も高め）を含めた狙いは何か。なぜこのタイミングで予算が出てきたのか。

A

職員の採用は人数確保を優先せず、基準（求める水準）を下げない方針を徹底する。採用が難しい場合、通年採用で一定以上の能力の人材を確保し、組織力を高めたい。当初予算は従来型の採用方式を前提としていたため、通年採用への切り替えに伴うシステム対応は補正で計上する。職員の能力水準を妥協せず、人材確保を進めて市政運営につなげる。

**飼い主のいない猫の避妊去勢手術費補助金 97万8千円
（一般財源97万8千円）**

（事業の目的）

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、人と動物が共生できる社会の実現を図るため、飼い主のいない猫を原因とする生活環境被害を軽減することを目的とする。



Q

補助対象は事前に市の承認を受けた団体であったと思うが、集落としての登録なのか、それともボランティア団体としての登録なのか。

A

ボランティア団体、地区、どちらの登録も可能である。

Q

飼い主のいる猫、いない猫を市は明確に判断できるのか。

A

判断は非常に難しいと思うが、飼い主のいる猫についてはきちんと管理されていると思うので、地域に支障をきたしているかで考える。

生活保護費 1,721万4千円（生活保護費負担金1,075万2千円、返還金及び徴収金305万1千円、一般財源458万2千円）

（事業の目的）

日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低程度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。（生活保護法第1条）

Q 生活保護世帯の現状と、受給者の自立に向けた支援体制はどのようになっているか。

A 生活保護世帯については、高齢者世帯が約43%を占めている。障がい世帯が約11%、母子世帯が約2%である。近年は若い世代の相談が増えている状況にある。佐賀県社会福祉士会に生活困窮者自立支援業務を委託しており、就労に向けた取組を実施している。

水車の里・遊学館改修事業 300万3千円
（行政財産使用料15万円、一般財源285万3千円）

（事業の目的）

水車の里・遊学館は主に製粉等に利用されていた。仁比山水車群を後世に伝えるために整備した施設である。本業務において、公共下水道への接続等の整備を行い、機能維持及び神崎市の歴史・風土のPRを図る。



Q 物産販売所ほか飲食店として利用できるように改修することだが、業者の見込みはあるのか。

A 現在、飲食店関係で1件問い合わせがきており、現時点では物産販売に関する問い合わせはあっていない。

ふるさと寄附金基金積立金 5億円（ふるさと納税指定寄附金5億円）

（事業の目的）

神崎市へのふるさと納税寄附金を市の事業に活用するため、ふるさと寄附金基金へ積み立てるもの。

Q 寄附金を5億円増額補正しているが、人気返礼品の上位（概ね5つ）と現時点の寄附額は。

A 主要返礼品（寄附件数ベース）は、肉・米・海苔・魚介類・家具等。寄附額は、9月に伸びた後に10～11月はやや落ち込み、11月末現在で14億493万2千円。

常任委員会のQ & A



各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件3件について審議を行いました。

議案第82号：神崎市職員の給与に関する条例等の一部改正について（全員賛成）

Q

「民間給与との較差3.07%」の“民間給与”は具体的にどのような企業の給与を指しているのか。大企業・中小企業、正規・非正規など幅があるが、どの範囲のデータに基づく数字なのか。

A

佐賀県人事委員会が、県内の民間事業所を調査した結果に基づく。対象は従業員50人以上の事業所から抽出して調査し、比較は国に準じて従業員100人以上の事業所データで行い、較差（3.07%）を算出している。

Q

「初任給をはじめ、若年層に重点を置いた引上げ」とあるが、ここでいう“若年層”とは、具体的にどの年齢層までを想定しているのか。

A

ここでいう若年層は、概ね30歳代前半を指している。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件2件、その他案件1件について審議を行いました。

議案第85号：神崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について（全員賛成）

Q

地域限定保育士が国家戦略特別区域の枠から外された理由は。

A

地域限定保育士の制度は、保育士不足解消等のため通常の保育士とは別に、国から特別区域に指定された一部の自治体で導入された。これらが保育士確保に一定の成果があったことから、今年10月からは児童福祉法の改正により、特例措置の国家戦略特区から全国に制度が拡大し一般制度化されたため。



産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、条例案件1件について審議を行いました。

議案第86号：神崎市火入れに関する条例の一部改正について（全員賛成）

Q

1月1日から5月31日までに林野火災に関する注意報の発令期間が限定されているが、それ以外の期間の対応はどのようになっているか。

A

それ以外の期間においては、林野火災に関する注意報は発令されないが、気象庁による強風注意報、乾燥注意報、または火災警報発令時は、火入れの中止を通知することとなる。

市政を

問う

11月定例会一般質問

一般質問は、令和7年12月3日、4日、5日、8日の日程で行い、14人の議員が登壇し、議論を交わしました。

一般質問とは…議員が、市政運営全般にわたり、問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

各議員のQRコードを読み取ることで、パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます。



捕獲用箱わな



侵入防止ワイヤーメッシュ

議員 市内の有害鳥獣対策はどのように行っているのか。
久保山産業振興部長 佐賀北部地域有害鳥獣広域駆除対策協議会と神埼市鳥獣被害防止対策協議会で対策を実施しており、広域的な駆除体制の確立と市内の農林水産物の被



徳川 博人 議員

議員 イノシシ・アライグマは一頭当たりの捕獲報償金、鳥類駆除は捕獲従事者1人、時間あたり1,060円を支払っているが、駆除に行くための交通費、銃の管理費等を含めて日当が低すぎると思うので、検討できないのか。
産業振興部長 猟銃取扱は、非常に責任も重く、

害防止として、箱わなやワイヤーメッシュの購入のほか、イノシシやアライグマ、カラスやカモなどの有害鳥獣駆除活動を猟友会に委託している。

市の有害鳥獣対策について

移動車両の燃料代など負担も多くあり、次年度以降においては、捕獲従事者の意見や県内状況を踏まえ環境整備に向けて協議を進めたい。

議員 市職員の人材育成計画で令和8年度民間企業派遣研修の内容はどのように計画されているのか。
大坪総務課長 近年は、自治体の情報を効果的に発信することが求められ、本市も強化に努めており、令和8年度は福岡市のテレビ局九州朝日放送に1年間職員を派遣し、実際の番組制作の現場に従事しながら、情報発信、デジタル、SNS活用など多角的な情報発信の手法等について研修を計画している。

市職員の人材育成について





原口ひさよ 議員

楽しく過ごせる まちづくりを目指して



行い決定していく。

議員 平成24年から市内巡回バスの運行が開始され14年が経過している。

この間にも、市民ニーズに寄り添いながら改編を繰り返し予約型乗り合いタクシーNORARUも運行されてきた。高齢化が進み、運転免許証の返納や免許を持たない市民への移動手段は欠かさない存在である。これからも、元気に気軽に外出できるような、市内地域公共交通は必要である。今後の展望を伺う。

議員 西鉄バス江見線が令和8年9月30日をもって路線廃止予定となっている。これに伴い、沿線自治体(佐賀市・神崎市・みやき町)で代替路線の確保に向けて協議がおこなわれている。協議の進捗状況を伺う。

中島総務企画部長 令和8年10月以降は3市町で共同して路線バスを運行することになった。運行事業に係る契約事務などの代表自治体は神崎市が担うことや、運行区間は佐賀駅バスセンターから西鉄久留米駅までとする

ことが決定している。運賃やバス停の数など詳細な内容は引き続き協議を

議論し決定していきたい。

神崎市の市有財産について

議員 市有財産(遊休地)の現状と今後の利活用計画について伺う。

総務企画部長 現在、遊休地となっている16件の普通財産を所有している。

そのうち12件は既に有償または無償貸し付けを行い、維持管理費の削減や自主財源の確保に努めている。また、新たに取り組みを進めている事業としては、千代田町福祉センター跡地を(仮称)南部地区防災備蓄配送センターに、旧本庁舎跡地を多くの方が気軽に立ち寄り、集う憩いの場を創出する2つの事業がある。



白石 昌利 議員

副市長に問う。市の現状を 捉えられた職務遂行の考え。



れからの考えは。

副市長 實松市政となり、春振の活性化を目指し実施する山村留学や、地域活性を目指す地域おこし協力隊の導入、二地域居住の推進、音楽・芸術を通じた文化交流、スポーツチームとの連携を通じたスポーツ振興など、市内外から人々を呼び込み、関係人口、交流人口を増やす取組を実施している。また、市民の声を丁寧を受け止め、市政に反映することが何より大事である。市民の声を丁寧に受け止め、事業を

進めていく。あわせて、市職員が力を発揮できるようなサポートしていくとともに、市長を支える立場として、市民の皆様と同じ方向を向きながら、今ある神崎市のよさを生かし、さらに発展していくように尽力していく。

その他の質問

- ・自治体による就労支援の取り組み。
- ・自治体による鍼灸助成の現状。
- ・悩みに寄り添う福祉サービス。

議員 様々な視点から考え、取り組むまちづくりを、これまでの経験と実績、そして、市外出身者の視点を生かしていくことが必要。人口減少と高齢化が深刻な課題となっている対応、かつてのように地縁によるコミュニケーションのつながりが薄れつつあるなか、多様なニーズに的確に応え、誰もが住みやすいと感じられる地域を実現、多様化する住民ニーズなど、副市長として神崎市の現状を捉えられた今、市長を補佐し、市長の命を受けて、政策・企画をつかさどり、市の各組織が行う事務を監督する職務についてこ



中島総務企画部長 長期総合計画では、JRR神崎駅の拠点形成を図るため吉野ヶ里歴史公園と連携した一体的な整備を推進するとしている。また、国土利用計画では、道路整備による南北交通の円滑化を推進し駅北と観光地を結ぶ新たな拠点形成

議員 吉野ヶ里歴史公園の西北では、宿泊施設九州最大級のキャンプ場を備えた体験型複合施設「スノーピークグラウンズ吉野ヶ里」が3月からオープンする。この神崎駅北口一帯は計画的な土地利用が求められるが、どのような土地利用を考えているのか。



平山 文也 議員

神崎駅北口一帯の土地利用について



としている。

議員 幹線道路は、県道三瀬神崎線のみで通勤通学時間帯は渋滞が著しいが、駅北に連なる幹線道路網はどう進めるのか。

筒井建設部長 新たな幹線道路の構築は重要であるが、市の財政事情を考えると整備実現のためには国や県の協力が不可欠であり相談していきたい。

議員 都市計画マスタープランの見直しが進められているが駅北口一帯の位置づけは。

森田建設課長 都市計画マスタープランでは、区域を設定しながら住宅や商業施設の立地を誘導し都市的街並みの形成を図る方針である。

その他の質問
・スポーツ推進のまちづくり



住宅開発が進む平ヶ里地区



ダム建設予定地の岩屋・政所・今屋敷地区

議員 現在の神崎市水源地域振興計画の実現に向けた具体的な取組状況について。



末次 勝 議員

神崎市水源地域振興計画について



め、これらの影響を緩和する対策として水源地域振興に関する基本構想と地域振興に関わる施策の方向性をまとめている。神崎市水源地域振興対策検討委員会において検討を進め、住民ワークショップなど開催し、市民や関係者の意見を反映させながら、令和5年3月に神崎市水源地域振興計画を策定している。

議員 神崎市水源地域振興計画の会長である市長の考え、思いを伺う。

市長 総合計画と変わらないうる幅広いにいろいろなものがあるが、盛り込まれており、一つ一つ本当に大事な事業と関係があるが、関係も取り組むのことも含めて、地域の方々と一緒になって議論しながら、一つでも期待される事業が実現できるように取り組んでいきたい。この計画の実現を契機に、仁比山地区、脊振地区の活性化がなされ、神崎市の更なる発展とつながりを取り組んでいきたいと思う。

集落内のクレークの整備について

議員 一日でも早い集落内クレーク整備が望まれている状況であるが、今後の事業計画について伺う。

久保山産業振興部長 国の農村振興総合整備事業を活用し行うこととしていたが、事業着手まで一定の期間を要することから、これまでの検討により緊急浚渫推進事業などの財源を活用し早期の環境改善に取り組みると考えており、令和8年度からの事業着手を予定している。



青岡 守 議員

議員 固定資産税の仕組みは複雑で分かり難いが、算定の基本的な考えについて問う。

宮地市民生活部長 固定資産税は、土地家屋、償却資産を対象に、地方税法に基づき課税する。土地は3年に一度の評価替えに伴い、土地の公示価格や取引事例等を踏まえ算定し、家屋は再建築価格方式により再建築に要する費用を基準として算定する。償却資産は、所有者の申告に基づき資産の減価率を適用し評価する。地方税法第350条により標準税率が1.4%と定められており、市もこの税率を適用して

神崎市の固定資産税の課税の仕方



固定資産税額を算定している。

行政財産から普通財産へ変更された不動産の活用について

議員 行政財産から普通財産へ変更された不動産(主に土地)の活用計画はどのようなものになっているのか。

中島総務企画部長 行政財産を用途廃止する場合、所管部署等により活用計画を策定し、新たに転用することの有効活



一般競争入札した本堀団地跡地

用を図ることとしている。また、他の用途への転用が困難な時、処分が適当となった場合は、神崎市公有財産規則に基づき処分方法を決定する。

議員 特に土地の処分において一般競争入札の場合、企業ばかりではなく一般の方の入札も可能と

してはどうか。
鶴財政課長 個人の方や一般企業も入札参加要件を満たしていれば入札に参加することは可能である。

地区内水路浚渫で、安心安全な生活を



副島 英樹 議員

議員 神崎市の水害対策の一つである田んぼダムは、6月・7月・8月の3カ月間は取り組めるが、9月から翌年5月までは取り組めない。昨今の線状降水帯は、11月まで発生している。今後は、この点も考えて対策を取るべきである。その為



汚泥が堆積し治水機能が落ちた 集落内水路

は、私が今年8月議会で取り組み方針を述べたように、地区内水路の浚渫により、集落内排水環境整備と同時に大雨時には貯留スポットに水を溜めることで上流・中流・下流に水を分散できれば、田んぼダムが使えない期間でも、クリーク水路である国営水路・県営水路に流れ込む流量は少なくなり内水氾濫も改善すると思う。集落内水路の浚渫対策で緊急浚渫推進事業債を活用し早期着工に向け取り組むとの回答であったが、地区内水路浚渫

事業をいつから取り組まれるのか時期を伺う。
久保山産業振興部長 集落内水路整備事業については、緊急浚渫推進事業債などの財源を活用し集落内水路整備を行う事で早期の環境改善に取り組みめるものと考えており、令和8年度から集落内水路浚渫事業に着手を予定している。

学校給食の完全無償化についての考えを伺う

山田教育部長 給食費の無償化の取組は、自治体によりばらつきがあり、国に対し全額国費での措置を要望の結果、令和8年度から小学校給食の無償化、中学校もできるだけ早く実現できるように制度設計等の検討が進んでいると認識している。

その他の質問

・神崎市の地方創生における人口対策について

佐々木 とも・福祉部長
補聴器の助成制度は2つあり、一つ目は聴覚障害で身体障害手帳6級以上で、両耳の聴力レベルが70デシベル以上の方への助成制度、2つ目は障害者手帳を保持しない軽度、中等度難聴の18歳未満の児童に対するものである。



佐藤 知美 議員

補聴器購入に対し 助成制度の実施を求める



議員 急速に助成制度実施自治体が増加している背景をどの様に捉えられているか。

大坪健康長寿課長 自治体の増加については、WHOにおいて難聴の管理は、認知症予防の重要な要素と位置付けられ、予防の観点からの各自治体の考え方と認識している。

議員 答弁で二つの助成制度が紹介されたが、私が求めているのはこの制度の枠外で、加齢による難聴で外に出るのを控えている、聞こえづらく人と話したくない、等の不安を抱えて生活されている高齢者の方々に生活環境の中で安心と安全を確保できる助成制度は必要と思うが、市長の考えは。

市長 私としては高齢者向けの施策の中で、どれを優先するか議論において、補聴器の助成とい

うものは入りたいと思っている。ただ一方で佐賀中部広域連合の生活圏に関するニーズ調査で外出を控えている理由として、足腰の痛み、交通手段がないなどが多く、こういったところへの支援が優先される。助成制度については、ニーズ調査も含め高齢者福祉施策の順番を考えていきたい。

※1
40センチメートル以上の距離で発声された会話を聞きとれない程度の難聴。



大野 秋人 議員

子どもたちが生き物と ふれあう場を



ないか。

山田教育部長 鳥インフルエンザ対応や土日・長期休業中の管理の難しさから、学校での小動物の継続飼育は難しいが、ICTの利点を適切に活用した授業やメダカ等の飼育、遠足等での体験型学習により、今後も命を大切に育む心育成を中心に据えながら、時代に沿って工夫した教育活動の展開に努める。

筒井建設部長 高取山公園の施設や管理体制、運営に要する費用などを含



市内小学校で唯一飼育されているウサギ (西郷小)

重要土地等調査法の 対応状況について

議員 脊振山頂の航空自衛隊背振山分屯基地周辺が特別注視区域に指定されているが、区域内の地目や外国資本による土地取得状況を伺う。

中島総務企画部長 指定された区域は大部分が山林であり、そのほとんどが国有林で、ごく一部に市有林と私有林、田・畑があるが宅地はない。本市においては、指定区域内での外国人等による土地、建物の取得はない。今後も、国が継続して実施する土地等利用状況調査の結果や制度の運用に注目し情報収集に努めている。



野回 英樹 議員

議員 運行開始（令和3年10月）されてからの利用状況について伺う。

中島総務企画部長 運行開始からの利用状況について、年度毎の延べ利用者数は、令和3年度447人、令和4年度717人、令和5年度818人、令和6年度772人となっている。

議員 現在、市が運行している予約型乗合タクシーはバス停からの乗り降りのみとなっている。利便性向上のため、運行地域の見直しや利用時間、バス停からだけではなく自宅から指定施設へ行くような改善はできないのか。

予約型乗合タクシー（NORARU）の改善について



田中総合政策課長 利用時間や乗降場所の自由化など、市民の皆様にとって利用しやすく最適な運行形態となるような改善方針の下、神崎市地域公共交通活性化協議会において議論を重ねている。

市長 シーの改善について、市長の思いを伺う。家の近くから降りできること、そして、乗合とはいえ、できるだけ最短ルートで目的地に行けるように工夫してほしいと担当部署に指示している。



現在運行している乗り合いタクシー「NORARU」



増岡 紀之 議員

議員 姉川踏切の拡幅・通行制限の解除について、未だに実現に至っていないが、地域住民の通行や営農活動に支障をきたしている事は、市も認識されていると思う。通行制限で小型特殊車両とはテラーや小型トラックであり時代のニーズに合わない。何処の農家も営農作業に際しては軽トラックが主流である、これは10年以上前から地域の課題であり、早急な通行制限解除と拡幅を再度お願いする。

筒井建設部長 踏切の対策については周辺踏切との統廃合なども含め検討することで、市の費用負担を抑えることが出来る可能性もあるため、地元の方の考えも確認しながら引き続きJR九州と協議を進め検討を行う。

JR 姉川踏切の拡幅及び通行制限解除について



議員 市道天竺川橋南から姉川上分線の天竺川南側及び天竺川橋は市道でありながら幅員が狭く軽自動車ギリギリ通行できる現状である。住民が安全に通行できるよう道路の拡幅・橋梁の架け替えを検討する考えはあるか。

建設部長 市道天竺川橋は姉川上分と戸井戸を結ぶ橋梁として利用されている。幅員は狭く軽トラックや大型農業機械は通行しづらい橋梁である事は認識している。現在架け替えや拡幅の予定はないが、橋梁長寿命計画に基づき、維持補修を行っており、今後は市の財政状況も考慮し道路や橋梁の拡幅の必要性や重要性について検討していく。



ニーズに合わない踏切の通行制限

一般質問

神崎市議会だより 第75号 (令和7年11月定例会)

中島総務企画部長 本市では「神崎市地域防災計画」において市民の生命、身体、財産を災害から保護することを目的に、山林火災を含め、災害予防や応急対策、さらに災害復旧・復興に必要な対策を定めている。また脊振山系の山林火災予防対策及び消防活動対策について、総合的な防火安全の確立を目的として官民連携により編成された「脊



末原 憲治 議員

議員 令和7年2月末の岩手県大船渡市の林野火災や、11月に発生した大分市佐賀関の大規模火災を受けて本市の山林火災対策はどのように行われているのか。

大規模な山林火災が発生した時の対応はどのようにされるのか



振山系火災対策連絡協議会」にも加盟しており、森林管理署や航空自衛隊の機関、福岡地区、筑紫地区、神埼地区管内の消防署、地方公共団体、森林組合、九州電力送配電(株)等の団体の構成で、脊振山系の山林火災を想定した訓練も三年に一度実施している。

中学校の部活動改革における地域展開の状況について

域移行が展開されているが地域による差異が見られる。地方においては、母体となる地域クラブが少なく、活動場所の確保や指導者の人材不足、運営費用や謝金などの財源確保、保護者の時間的・金銭的負担の増加等多くの課題があり、教員の負担軽減などの効果も十分に表れているとは申し上げにくい状況である。

その他の質問

・火入れ条例について

議員 中学校の部活動改革における「地域展開」がさらに令和8年から13年までの6年間延長されるが、今の状況はどうなっているのか。



中学校部活の「地域展開」には、多くの課題が残されている。



安心・安全な給食を毎日作っている
学校給食共同調理場



福岡 清道 議員

議員 政府は給食費無償化を令和8年度より、実施の方向を明言している。しかし国の予算化の内容は小学6年生までである。

学校給食費の完全無償化を求める



他の学年については生徒一人当たり、月1,000円の補助を実施している。この総額は年いくらかになるのか。

荒木学校給食共同調理場長 今年度の予算額は、4,696万2千円である。

議員 中学全体を無償化した場合予算はいくらぐらいになるのか。

学校給食共同調理場長 今年度の対象者を711人と見込んでおり、給食費は、4,536万2千円程度となる。

議員 ほぼ同額であり、

市がこれまで通り予算をつければ中学全学年を無償化でき、小学校から中学校まで全学年の無償化が実現できる。市長の考えを伺う。

市長 その選択肢もあると思うが、さらに優先的な子育て支援策等、神崎市ならではの施策を打てばと思っている。

大型農業機械の更新等に市独自の補助制度を

議員 平地においては大型農業機械の更新等は国・県の補助対象外の場が多い。市独自の補助制度を求める。

市長 市の財政状況の中で神崎市全体を見たときに、どういう根拠で何を求め、どこを優先的に支援していくか、まだ検討している状況である。この農業支援については、一つの要望として検討の組上げ、議論を深めたい。

ガンバッテ ガンバッテ ガンバッテ



キレイにただけじゃ
終わらない…

議員 「馬場川かわまちづくり」を推進する「水の郷再生市民会議」との連携について。

筒井建設部長 平成7年に国交省から「水の郷」として認定を受けましたが、近年の市街化や水路



岡原 和幸 議員

馬場川流水の 増量が命題だ



系統の変化により、かつての風情が衰退している。令和3年に「水の郷再生市民会議」を設立し、2つの専門部会を立ち上げ、各メンバー中心の活動に取り組んでいる。

議員 2つの部会とは。

建設部長 「馬場川かわまちづくり部会」は、国の支援制度に基づく計画に登録するため、平ヶ里踏切から下流の現地状況の確認を数次にわたるワークショップで行っている。「水環境部会」は、

馬場川をはじめクリーク公園などの改善に向けた対策案を再生市民会議へ提案している。

議員 市と部会と地域のトライアングル構成でどのように進めるのか。

森田建設課長 各部会から再生会議に報告し、会議から市に提案を頂き、市は提案に協力しながら連携して進めていく。

その他の質問

- ・特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて

総務常任委員会行政視察研修報告

委員長 木原 憲治

今回の研修は、10月9日から10日の2日間、長崎県対馬市において、9日は「移住定住の取り組み」及び「重要土地等調査法関連」翌10日は「国際交流」の研修をいたしました。

まず「移住定住施策」については、令和6年が97世帯、141名の移住実績となり、具体的な取り組みとして、①オンラインを含む移住相談会の開催②しまぐらし下見等事業補助金③移住お試し住宅④空き家バンク制度⑤定住支援住宅など様々な取り組みがなされてきました。次に「重要土地等調査法関連について」では、対馬市では全国最多となる20箇所が指定され対象区域の土地取引に関し、国からのヒアリングが行われたとのことで、同法の所管部署と固定資産を所管する部署が違いますが今後の課題とのことでした。最後に

「国際交流について」ですが、現在は韓国から年間20万人前後が訪れ、観光消費額は79億円とのこと。しかし日韓関係の悪化やコロナの流行で令和3年4年は韓国からの訪問がゼロとなり観光産業が大打撃を受け、この教訓を生かしインバウンド頼みから国内からの誘客に方針転換し壱岐市と連携した旅行商品を提案するなど大都市からの誘客に繋がっているとのことでした。



対馬市での研修の様子

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 平山 文也

議会改革検討特別委員会では、12月16日に特別委員会を開催し、各分科会の検討項目について、全委員で確認いたしました。

初めに、閉会中の10月2日、10月17日、11月4日に第2分科会で協議され、作成された神崎市議会議員政治倫理条例案について、11月28日に全議員にその内容を通達し、その内容について最終確認したうえで、12月19日の本会議に全議員が提出者となり発議上程し、可決いたしました。

本条例は、議員の政治倫理に関する規律の基本的事項を定めることにより、市民の代表として市民に信頼される議会を目指すものです。

次に、第1分科会で協議され、先の定例会において可決し、10月1日より施行している「神崎市議会基本条例」において、その細則を協議しております。

神崎市議会基本条例では、執行部の反問権の行使を明記しており、反問権の

行使方法及びその範囲について、全議員で確認し、執行部と情報共有していただくこととしております。

最後に、議会報告会、意見交換会についてであります。

今年度は、各常任委員会代表の議員6名で構成する議会報告会運営会議が中心となり、1月10日土曜日に市内3会場で同時に開催いたしました。

今年度の参加者の方々からのご意見を踏まえ、市民の負託にこたえられる議会活動、議員活動の実現を目指し、現在までの調査・審議してきた事項について一つ一つ整理しながら、神崎市議会の議会改革を将来に繋げてまいります。以上で、議会改革検討特別委員会の経過報告といたします。



神崎市議会【議会報告会・意見交換会】を開催

去る令和8年1月10日、脊振交流センター、神崎市役所、千代田文化会館（はんぎーホール）の3か所において、議会報告会・意見交換会を開催しました。

当日は、市民の方より多くの意見をいただきました。



▲脊振交流センターにて開催の様子

いただいたご意見は全議員で確認し、所管の委員会で検討するとともに、執行部と情報を共有し、課題の改善に努めてまいります。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今後も皆様の声を議会活動に活かしてまいります。



【市民の方からの主なご意見】

- ・脊振広滝地区のバス停環境の改善
- ・道路拡幅と歩道の設置
- ・将来を見据えた移住促進と空き家の有効活用の検討
- ・過疎地域の買い物環境の改善
- ・神崎駅北を中心とした周辺地域の発展
- ・職員数や経費の削減を目的とした本庁への業務集約
- ・国道264号道路改良工事の早期完成要望書の提出
- ・小学生の下校時における見守り体制の在り方
- ・佐賀県農業公社による農地中間管理事業に対する手数料の廃止
- ・議員定数が現状維持に至った過程
- ・市議会議員のハラスメント事案における議会の対応 等

信頼される議会を目指して

神崎市議会議員政治倫理条例を制定



神崎市議会では、11月定例会において、議員が守るべき行動のルールを定めた「議員政治倫理条例」を制定しました。



1. 目的：信頼される議会

議員の政治倫理を明確にし、公正で民主的な市政の発展につなげます。



2. 議員の基本姿勢：品位と名誉を守る

市民の代表として、疑いを招く行為を避け、良識と責任ある行動を求めます。



3. 禁止事項：口利き・金品・不当な働きかけ等を禁止

地位を利用した金品の授受、契約等での不当なあつせん、職員
の採用・人事等への不当な働きかけ、ハラスメントを禁じます。



4. チェックの仕組み：市民・議員から請求できる

市民は「有権者の100分の1以上」の署名、議員は2人以上
の連署で審査請求ができます。



5. 透明性：審査して結果を公表、必要な措置へ

審査会で調査し、対象議員には弁明の機会があります。結果は
通知され、概要が公表されます。違反と認められた場合は、辞
職勧告などの措置の例が示されています。

議員一人ひとりが高い倫理観を持ち、説明責任を
果たしながら、より身近で誠実な市議会を目指し、
更なる市民の皆さまの信頼向上を図ります。



明日をみつめるまなざし

子どもたちの傍聴体験感想文



私が今回傍聴したのは大きな部活動のための会議に入ったときから授業が張りつめていき楽しかったです。転進生も学校会をしますが、先生の学校会とは違い、思っただけは聞かない、課題がたくさんあり大変だなと思いました。部活動の担任の人が今まで教員が全部してきたこと、大変だから部活動のかけんありの人がとも活用してほしかったと話していました。教員が全部したいからだと話していたのを見て、教員の人達はよくありがたかったかなと思います。

私の学校の夢は学校の先生になることです。私は今回の会議を傍聴して、これから先会議にこれからは不安になりました。でも学校の先生になるという夢を叶えたいから、この会議の場にも聞きたいという思いで、この外に出て聞きたいかなと思います。

これから多くの学校会や代表委員会をやると思います。初めは今回の会議を参考に、この会議では転進のたかに話し合えるように、千代田東部小学校のために話し合おうと思います。

今回は市議会で部活動のことについて、開きました。先生たちのふたんを減らすために、地域の人も取り入れようとしている姿を見てすごいなと思いました。また人材バンクや土日の学校が開いていないと部活動ができない、人手不足など問題がたくさんある。たまたま議員の方や課長の方は真剣に話し合いられていました。市議会でお話をしている人達はみんな中学校や市町の事を考えていら、しゃいました。私も来年中生になります。中学校は1人学校の方が、クラスが増えたり、勉強が楽しくなったり、部活動がめまたり不安な事がいっぱいあります。友達のことか、でも市議会の方が一生けん命しているのを見て私もがんばろうと思いました。市議会のおみなさん、これからも神崎市の事をよろしくおねがいします!

神崎小学校、千代田東部小学校の6年生が、社会科学習の一環で市議会一般質問を傍聴しました。



市議会では、議員さんが毎回議題を見つけてきて、質問をしていることが分かりました。質問が時間内に終わらなかつたうそで終了と聞いて、3日、4日で1人90分は、少し短いかなと思いました。こんなに市をよほくするために、市議会で話し合われていることが分かったので、これから18才になったら選挙などに参加しようと思いました。

今日の市議会傍聴で市議会がどのようなものかや、そのお話を聞いて、議員さんが質問したつづれに答える姿、現行政治について、興の未をもちまは、いろいろな人々により市議会が成り立っていることと、思ったように、18才以上にならう、あの場には、17のふたつ、い人を選挙で選挙などには、できるだけ行きたりして政治に参加していきたいです。

わたしは市議会傍聴に初めていて、入って少し思、たふん、いさちか、てびくりました。話を聞いてモニターみたなので名前を言わねたらすぐうつて、すごいなと思いました。また、モニターの下に時間があて、入、ていたからなんだろうと思、たり1人の話の時間が90分と聞いて、びくりました。これから市議会についても、と知りたかったです。

「市民の皆様からのご意見について」

現時点での議員定数の結論については、議会だより「あやとり」第74号に掲載したとおりであります。

記事掲載後、市議会に対して様々なご意見をいただきましたが、次期改選時に現状の議員定数を維持する事については、神崎市議会としての判断となりますので、個別議員の意見を掲載することは差し控えさせていただきます。

しかしながら、議員定数のあり方につきましては、改選後の神崎市議会においても議論すべき課題であることは、全議員の共通認識であります。

多くの出会いと声に背中を押され、あつという間の4年間でした。地域での行事や様々な現場、学校行事などで伺った一つ一つの声が、議会での質問や提案の原点です。理想と現実の間で悩み、資料を読み直し、先進事例を学びながら、「今できる改善」と「将来に残す投資」をどう両立させるべきかを考え続けてきました。ここまで歩んでくる事ができたのは、日頃から支えてくださる皆様のおかげです。感謝を胸に、これからも対話を力に、暮らしの安心を守りつつ、希望あるまちづくりに取り組んでまいります。

編集後記

(記 大野 秋人)

議会の動き(令和7年10月～12月)

- 10月2日 議会改革検討特別委員会第2分科会
- 7日 岐阜県大垣市より行政視察受け入れ
- 8日 議会広報編集特別委員会
- 9日～10日 総務常任委員会行政視察研修(長崎県対馬市)
- 10日 第244回佐賀県市議会議長会〔正副議長会〕(鹿島市)
- 14日 富山県魚津市より行政視察受け入れ
- 17日 議会改革検討特別委員会第2分科会
- 20日 産業建設常任委員会
- 21日 議会広報編集特別委員会
- 23日 和歌山県橋本市より行政視察受け入れ
- 28日 九州市議会議長会第3回理事会(沖縄県宜野湾市)
- 30日 全員協議会
- 議会改革検討特別委員会第1分科会
- 31日 議会広報編集特別委員会
- 11月4日 議会改革検討特別委員会第2分科会
- 5日 全国市議会議長会第120回評議員会(東京都)
- 7日 議会広報編集特別委員会
- 10日 第34回全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会(宮崎県都城市)
- 11日 秋田県北秋田市より行政視察受け入れ
- 13日 防衛省全国情報施設協議会中央要望活動(東京都)
- 18日 文教厚生常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会
- 20日 総務常任委員会
- 11月28日～ 令和7年11月第4回神崎市議会定例会
- 12月19日 全員協議会
- 28日 議会広報編集特別委員会
- 3日 令和7年度予算特別委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 11日 総務常任委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 15日 議会改革検討特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 全員協議会
- 18日 全員協議会
- 19日 全員協議会

広報編集特別委員会の任期を終えて

私たち6名は、令和6年5月から2年間、議会広報編集特別委員会委員として、神崎市議会だより「あやとり」の編集を行ってきました。

皆さまからのあたたかいご支援や、時には厳しいご意見もいただきながら、編集活動に取り組んでまいりました。

いただいたご意見一つひとつが、活動を進めるうえでの大きな支えとなり、心より感謝しております。

今後とも神崎市議会だより「あやとり」をご愛読いただきますよう、よろしくお祈りいたします。

議会広報編集特別委員会

委員長 佐藤 知美	委員 副島 英樹
副委員長 末次 勝	委員 徳川 博人
委員 田原 和幸	委員 大野 秋人

